
陽炎の記憶

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

陽炎の記憶

【Nコード】

N1452M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

クリスマスとかのイベント事に一人だと思い出すことってあるよね、って感じで書きました。

陽炎の思い出

あの日失った過去追い求め、
私は彷徨いながら、想い続ける。

忘れたくても忘れられない
それでも忘却の彼方に消えゆく。
あなたと過ごした思い出
一緒にいた時間が私達を結ぶ最後の絆。

こんなに好きなのにこんなに近くなのにと
思わずにはいられない想い。

光り輝く大切なもの
確かに大切なのに、わからない。
それでも灯る灯は小さくて
でも大切な何かだと思うの。

陽炎のように揺れて消えてを繰り返す。
光に照らされた想いは何も映さず水の様ね。

波紋を広げるばかりだけど
想いはそこにきつとあるはず。

静かで儚く写るけど映さない、
光に映されない想いは私の頬を濡らしていく。

過ぎ行く時間が枯らしてくれと、
わかつてはいるけれど、
それがいつなのか、わからない。

後悔も思い出も何もかもを流してくれと
信じてやまないのは確かにある。
それでも私は信じて涙を流す。

頬を流れる涙は悲しみだけじゃなく、
あなたを想う気持ちも優しいものに変えてくれるはず。

あなたのぬくもりがそこにあったから
だから私は笑っていられたの

今ここにはあなたのぬくもりはないけれど、
あなたがここにいたことを知っている。
だから私は希望を捨てない。

だから私は笑顔で歌うのよ。
私とあなたが出会ったきっかけだから。
あなたへの想いをのせながら、
あなたの好きな旋律で
ありがとと大好きを紡ぐ。

私に出来る精一杯をあなたの為に。
あなたといた時を思い出しながら
喜びも悲しみも全てを込めて
この歌をあなただけの為に
今日この場所で捧げます。
今日という日に感謝します。

ああ、涙って温かい
悲しいだけじゃなく
ぬくもりも感じるの
それは決して罪じゃなく
それは幸せなんだということ
初めて知ったんだと思うの。

涙の本当の意味を知ったような気分。
それはあなたに出会えたおかげ。
あなたには、幸せになって欲しい。

あなたは私の大切な友人です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1452m/>

陽炎の記憶

2010年12月18日19時51分発行